

令和2年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強する良い学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。)
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：令和2年12月実施、教職員：令和3年2月実施]	学校評価委員会からの意見(案)																								
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校の給食は充実している。(中学 肯定率 58.1%。昨年度より 12.7%増。) ・ 道徳やHRの時間などで将来の進路や生き方について考えさせてくれる。(中学 肯定率 80.2%。昨年度より 11.3%増。) ・ この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。(中学 肯定率 89.2%。昨年度より 8.7%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、学校の図書館をよく利用している。(中学 肯定率 28.8%。昨年度より 7.7%減。) ・ 私のクラスに来る先生は、私語や居眠りを放置せず、よく注意する。(高校 肯定率 80.3%。昨年度より 4.9%減。) ・ 私は、予習や復習をして授業を受けている。(高校 肯定率 66.5%。昨年度より 4.4%減。) <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供は、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。(中学 肯定率 85.3%。昨年度より 10.9%増。) ・ 子供は、この学校の授業は分かりやすいと言っている。(中学 肯定率 84.8%。昨年度より 6.4%増。高校 肯定率 80.9%。昨年度より 8.5%増。) ・ この学校は、子供の様子について家庭への連絡などをきめ細かく行っている。(高校 肯定率 80.7%。昨年度より 7.4%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。(中学 肯定率 94.6%。昨年度より 2.1%減。) ・ この学校は、教科の進度や内容の公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている。(中学 肯定率 80.8%。昨年度より 2.0%減。) ・ この学校は、生活指導の方針をよく保護者に伝えている。(中学 肯定率 90.0%。昨年度より 1.5%減。) 	<p>令和3年5月1日に学校評価委員会を開催。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中学</th> <th colspan="2">高校</th> </tr> <tr> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定評価</td> <td>35項目中</td> <td>27項目中</td> <td>35項目中</td> <td>27項目中</td> </tr> <tr> <td>増加項目</td> <td>31項目</td> <td>22項目</td> <td>16項目</td> <td>26項目</td> </tr> <tr> <td>肯定評価90%以上</td> <td>38項目中 7項目</td> <td>30項目中 15項目</td> <td>38項目中 1項目</td> <td>30項目中 8項目</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学生徒、中学保護者、高校保護者については、ほとんどの項目で前年度より肯定評価が増加している。高校生徒については肯定評価が減少している項目の方が多いが、増加も減少も±5.0%の幅に収まっており、前年度とほぼ変わらない評価であったと考えられる。しかし、肯定評価90%以上の項目が1項目のみであり、まだまだ肯定評価が得られる取り組みが求められる。</p> <p>昨年度の学校評価委員会では、中学生の給食についての肯定率は依然として50%に届かないことに対し、学校給食の意義について生徒側の根本的な理解が不足していることにも原因があると分析した。今年度は、家庭科の授業において、食品ロスの単元で学校給食の意義についても取り上げた。そうした取り組みも反映し、中学1年では75.0%の肯定評価であり、中学全体でも58.1%と初めて50%を超えた。</p> <p>今年度より、キャリア・パスポートの取り組みが始まったこともあり、「進路や生き方について考えさせてくれる」という項目が中高ともに増加した。(教職員の同様の項目も増加)</p> <p>中学で図書館の利用が大幅にダウンしているのは、コロナ禍で新入生に対して図書館ガイダンスが実施できず、中学1年の肯定評価が大幅に下がったことが原因であると考えられる。</p> <p>生徒や保護者の回収率がまだまだ低い。次年度からは、PiCROやClassiなどの配信サービスでアンケート実施を保護者に伝えることにより回収率を高めたい。</p>		中学		高校		生徒	保護者	生徒	保護者	肯定評価	35項目中	27項目中	35項目中	27項目中	増加項目	31項目	22項目	16項目	26項目	肯定評価90%以上	38項目中 7項目	30項目中 15項目	38項目中 1項目	30項目中 8項目
	中学		高校																						
	生徒	保護者	生徒	保護者																					
肯定評価	35項目中	27項目中	35項目中	27項目中																					
増加項目	31項目	22項目	16項目	26項目																					
肯定評価90%以上	38項目中 7項目	30項目中 15項目	38項目中 1項目	30項目中 8項目																					

<p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、生徒が大学に限らず、将来の職業についても興味、関心が持てるように、学年に応じたキャリア教育を行っている。(肯定率 53.0%。昨年度より 11.8%増) 本校では、人権侵害や差別意識の助長を許さない教育に努め、特にいじめの防止には全力をあげて取り組んでいる。(肯定率 85.5%。昨年度より 10.2%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校では、教育目標と将来ビジョンを教職員が共有し、生徒、保護者にも浸透している。(肯定率 61.4%。昨年度より 13.8%減。) 本校では、避難訓練を行うなどして、生徒・教職員の防災意識・安全意識を高めている(肯定率 68.7%。昨年度より 7.8%減。) 	<p>人権侵害やいじめの防止については、前年度の大幅ダウンの反動であり、例年の数値に戻った。</p> <p>授業規律の項目は肯定評価が 100%であった。そのことが、生徒・保護者とも「授業は分かりやすい」の項目の肯定評価が増加している要因の一つと考えられる。</p> <p>休校期間中の学習指導や家庭との連絡体制については、生徒・保護者・教職員とも肯定評価は 80%前後であった。保護者の「連絡をきめ細かく行っている」の項目の肯定評価が増加した要因の一つと考えられる。</p> <p>教育目標と将来ビジョンの共有の項目についての肯定率が大きく下がっている。年度当初に在宅期間があったため、主に新任の先生方に学校方針が伝わりにくかったためと考えられる。</p>
---	---

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」の肯定率 90%以上(生徒アンケート)	ア 「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けた。また、予備校の教員研修プログラムにも参加を呼びかけるなど、教員の指導力向上の機会を設けた。	ア 中学 肯定率 93.4%で 達成 。昨年度より 4.8%増。 高校 肯定率 88.2%で 未達成 。昨年度より 0.7%増。	これまで以上に「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けを行う。
		イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」の肯定率 70%以上(生徒アンケート)	イ 生徒に学習記録を付けさせ、それを保護者・担任がチェックする取り組みを継続的に行った。	イ 中学 肯定率 67.9%で 未達成 。昨年度より 7.5%増。 高校 肯定率 66.5%で 未達成 。昨年度より 4.4%減。	生徒の予習や復習が不可欠な授業になっているかどうかの点検を行う。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「H.R(道徳)の時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。」の肯定率 75%以上(生徒アンケート)	ア 進路講演会や、高1生対象に卒業生が大学・学部・研究内容を紹介する「開明大学」などのイベントを行った。また、HR・総合の時間などで「キャリア・パスポート」に取り組み、将来の進路や生き方について考えさせた。	ア 中学 肯定率 80.2%で 達成 。昨年度より 11.3%増。 高校 肯定率 73.6%で 未達成 。昨年度より 3.7%増。	これまでの取り組みを継続するとともに、「キャリア・パスポート」の取り組みをさらに充実させる。また、卒業生の経験談を聞く機会をさらに増やす。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」の肯定率 80%以上(教職員アンケート)	ア 年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いた。	ア 肯定率 75.9%で 未達成 。昨年度より 2.9%減。	研究授業に対して批判的な内容の意見が出しにくい会議の雰囲気があるため、議論が活発に行えるような工夫を検討する。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。」の肯定率 85%以上(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を学年主任・副主任に確認し、指導の統一性を図った。	ア 中学 肯定率 85.7%で 達成 。昨年度より 0.5%減。 高校 肯定率 80.3%で 未達成 。昨年度より 4.9%減。	授業規律についての基本的な考え方を、さらに広い場面(職員会議など)を通じて全教職員に徹底する。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」の肯定率 90%以上(生徒アンケート)	ア 「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝えるよう努めた。	ア 中学 肯定率 89.9%で 未達成 。昨年度より 4.3%増。 高校 肯定率 87.0%で 未達成 。昨年度より 0.1%減。	「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝える機会をさらに増やす。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」の肯定率 85%以上(生徒アンケート)	ア 毎学期、いじめアンケートを実施し、いじめの把握に努めた。また、いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努めた。	ア 中学 肯定率 86.1%で 達成 。昨年度より 5.5%増。 高校 肯定率 78.0%で 未達成 。昨年度より 4.3%減。	これまでの取り組みを継続しつつ、道徳の時間も利用して、いじめに対する理解を深めさせる(特に中学1年生)。

<p style="text-align: center;">3 行事・クラブ活動</p>	<p>(1) 行事への積極的な参加</p> <p>(2) クラブ活動への自由な参加</p>	<p>ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)</p> <p>ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 80%以上 (生徒アンケート)</p>	<p>ア コロナ禍でほとんどの行事が中止となってしまうが、そのぶん、実施できた文化祭と体育大会に力を注ぐことができた。</p> <p>ア コロナ禍で活動が制限される中でも、感染予防対策をした上で、できるだけ活動ができるように工夫して取り組んだ。</p>	<p>ア 中学 肯定率 87.2%で達成。昨年度より 6.9%増。 高校 肯定率 76.4%で達成。昨年度より 3.1%増。</p> <p>ア 中学 肯定率 84.8%で達成。昨年度より 3.5%増。 高校 肯定率 78.3%で未達成。昨年度より 2.1%増。</p>	<p>それぞれの行事がただ「やるだけ」に終わらないよう、その行事の意義や獲得目標を明確にし、教員間で共有する。</p> <p>クラブ活動が生徒の負担にならないよう、本校独自の「クラブ活動基準」の徹底を図りつつ、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、可能な限り活動を保障する。</p>
<p style="text-align: center;">4 施設・設備</p>	<p>(1) 新設備のフル活用</p>	<p>ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」の肯定率 90%以上 (保護者アンケート)</p> <p>イ「この学校の給食は充実している」の肯定率 50%以上 (中学生徒アンケート)</p>	<p>ア オンライン英会話のパソコン教室での実施、教室での電子黒板の日常的な利用など、新設備を活用した。</p> <p>イ 年1回、保護者対象の給食体験会を実施した。また、生徒や保護者の意見をよく聞き、給食業者とも相談して改善を図った。さらに、中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作った。</p>	<p>ア 中学 肯定率 93.2%で達成。昨年度より 0.3%減。 高校 肯定率 94.2%で達成。昨年度より 1.8%増。</p> <p>イ 中学 肯定率 58.1%で達成。昨年度より 12.7%増。</p>	<p>新たにWi-Fiユニットを装備した電子黒板のさらなる利用を促す。また、オンラインでの双方向授業が可能な環境を整備する。</p> <p>中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作るなど、今後もこれまでの取り組みを継続していく。</p>